

【施設状況】

グループ名称	信州新町授産センター							
指定管理者名	労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団				法人番号	3013305000743		
所管課	主	100600	福祉政策課	副				
構成施設	1369	信州新町授産センター						
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	社会事業授産施設 【施設本体】鉄骨造平屋建 延床面積765.00㎡ 作業室、休憩室(食堂)、更衣室、事務室 【倉庫】木造平屋建 延床面積19.87㎡							
施設設置目的	身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に対して、就労又は技能の修得のため必要な機会及び便宜を与えて、その自立を助長することを目的とする。							
基本方針等	身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に、より良い就労環境と機会を与え、障害のあるなしに関わらず施設利用者の枠を超えて交流できる、地域に根ざした施設となることを目指す。							
主な実施事業	社会事業授産施設 民間企業から作業を受託し、その受託作業に係る収入を工賃として支払うことにより、通常の雇用契約による就業が困難な施設利用者の自立の助長を図る。							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団			当該指定管理者の 指定回数	3 回
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日 平成23年4月1日
指定 管理者 の 健全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)	組織としては東京本部、北陸信越事業本部と体制を整えて、全国で協同労働事例を活かした各種プロジェクトを展開している。他現場での不適切報告から法人全体でコンプライアンスとガバナンスの徹底した見直しを図り、全事業所で改めて研修を行った上での運営に努めた。			3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年比	評価
	授産施設(利用者月平均)	人	21	20	22	21	95%	
(特記事項) 生活保護法の規定による要保護者、障害者の技能修得・就労の機会の提供を目的とする施設であり、定員に余裕があるときは、一般の利用者を受け入れることができる。定員30人								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 授産施設の事業実施に関する業務 授産施設の利用許可・条件付与・許可取消しに関する業務 授産施設の施設及び設備の維持管理に関する業務 授産施設の利用料金の收受、割引等に関する業務 授産施設の効用を増加させる自主事業に関する業務 						
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ①次亜塩素酸水(クリーンキラーA)製造販売 ②鹿革鞆し、販売 ③間伐材による木工品の企画制作 ④杉アロマオイル製造 ⑤楼閣梅園祭りへの出店 ⑥新町フェスタへの出店 ⑦新町林業体験交流会への参加 ⑧農業体験 			<p>[実施内容を変更した事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ③間伐材による木工品の企画制作 →安定した間伐材の調達が難しいため、間伐材を活用したシイタケ栽培に変更 ⑤楼閣梅園祭りへの出店 →出店の準備が整わなかったため、他社の手伝いを行う ⑥新町フェスタへの出店 →出店の準備が整わなかったため、他社の手伝いを行う <p>[未実施又は完全実施に至っていない事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ①次亜塩素酸水(クリーンキラーA)製造販売 →外部への販売には至っていない ②鹿革鞆し、販売 →原材料の調達が難しい状況であるため、未実施。今後計画の見直しを行う予定 ④杉アロマオイル製造 →安定した間伐材の調達が難しい状況のため、未実施 				
サービス維持・向上の取組み(広報等)	新規事業を立ち上げる企業や個人との連携を進めているが、令和5年度は、新たに2社と取引を開始することができた。また、施設利用者の支所や農協、病院に行きたいという要望に沿って、信州新町市街に新たに1か所、送迎車の駐車場を設け、利便性向上を図った。							

3

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	
	(2) 調査、会議等の内容 日々の利用者との会話の中で、利用者の要望を把握するほか、表情の変化や様子に異変があれば、適宜、個別面談を実施		
	(3) 調査、会議等の結果 気軽な雰囲気の中で発せられる利用者からの率直な意見や困りごとを把握、これらについて、職員会議等において、職員間で情報を共有		
利用者評価	(1) 良好とする評価	・作業時間以外も、職員と気軽にコミュニケーションをとることができ、様々なことを相談しやすい	4
	(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと工賃収入が欲しい ・特定の利用者、人間関係の問題を抱えている ・年齢的に今までできていた作業が難しくなってきた 	
	《対応措置》	<ul style="list-style-type: none"> ・工賃確保のため、取引先拡充を進めた ・人間関係のトラブルについては、所長が対応し、適宜、関係各所につなげた ・楽しみながら、長く利用できることが大切なので、年齢に応じ、できる作業を担ってもらった 	

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和5年度)				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		令和5年度決算		令和4年度決算(前年度)			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
事業収支 (単位:円)	収入	利用料金	19,000	利用料金	15,110	歳入	使用料	0	使用料	0
		指定管理料	25,354,000	指定管理料	25,354,000		雑(納付金)	0	雑(納付金)	0
		委託料		委託料			行政財産目的外使用料	0	行政財産目的外使用料	0
		販売収入等		販売収入等			貸付料	0	貸付料	0
		その他収入	882,000	その他収入	750,995		その他	0	その他	0
		作業収入	4,200,000	作業収入	3,576,165		保護施設事務費負担金	16,816,800	保護施設事務費負担金	21,151,200
		就労奨励費	151,000	就労奨励費	117,630					
		計	30,606,000	計	29,813,900		計	16,816,800	計	21,151,200
	支出	人件費	18,182,000	人件費	17,744,298	歳出	指定管理料	25,354,000	指定管理料	25,169,000
		設備管理費	319,467	設備管理費	316,823		委託料	0	委託料	0
		備品購入費	100,000	備品購入費	0		需用費	0	需用費	0
		修繕費	100,000	修繕費	181,460		役務費	16,148	役務費	13,221
		光熱水費	1,110,000	光熱水費	1,233,912		使用料・賃借料	546,480	使用料・賃借料	546,480
		事業費	1,719,533	事業費	1,620,626		修繕費	0	修繕費	0
事務経費		932,000	事務経費	1,041,409	工事請負費		0	工事請負費	0	
本社経費		3,792,000	本社経費	3,792,000	備品購入費		0	備品購入費	0	
その他			その他		その他		0	その他	0	
作業工賃		4,200,000	作業工賃	3,576,165						
就労奨励費	151,000	就労奨励費	117,630							
計	30,606,000	計	29,624,323	計	25,916,628	計	25,728,701			
自主事業	収入	0	収入	0						
	支出	0	支出	0						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0						
損益		0		189,577	差引	-9,099,828		-4,577,501		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和5年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合) 59.9%										
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※ すべて で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容		チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか		<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)	・常勤3人(2人)、非常勤3人(3人) 【内訳】施設責任者1人(0人)、事務員1人(1人)、指導員4人(4人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか			
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか			
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか			
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか			
2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		<input checked="" type="checkbox"/>	3	

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		☑
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	地域連携	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3
	協定内容・指定管理者提案	
	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の地元(地域住民及び市内居住者)雇用 ・物品購入や修繕・業務委託に関する地元事業者の積極的活用 ・近隣諸施設の施設状況を把握し、施設利用上の協力態勢に努める。 ・障害者の雇用改善という共通の目的に向かって、他施設と連携し、地域福祉推進の一翼を担っていききたいと考えている。 	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	<p>単なる「働く場所」ではなく、利用者一人ひとりの特性や、困りごと等に寄り添った運営がなされていることから、「利用者評価」について、評価を「4」とした。</p> <p>また、工賃収入は前年度を下回っているものの、新規開拓に取り組み、2社と取引を開始できたことは評価できる。</p> <p>地域とのつながりづくりにも積極的に取り組んでいることから、地域に根差した自主事業を進展させ、より地域で存在感が高まることに期待したい。</p>		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<p>・施設建設から30年以上経過し、一部施設の老朽化が見られる。施設の長寿命化のため、日々の点検等を通じて不具合箇所の早期発見に努め、基本協定に定める責任分担に基づき、計画的に修繕等を行う。</p>		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

利用者一人ひとりがそれぞれ問題を抱える中、日々の職員間での申し送りから個々の事案に対し、施設として対応できることは施設で、施設で対応の難しいことは行政機関担当課、または外部機関や団体にも相談しながら対応している。
 送迎について、昨年度までは、乗車場所が1か所だったが、高齢化等による乗車場所までの移動の負担を少しでも減らせるよう、乗降場所を増やした。これにより通所の負担を減らすとともに、帰宅時に、受診や買い物をするのが容易になっている。
 作業についても、高齢の利用者には体力的に負担の少ない作業を、若い利用者は、農作業や製品の納品補助等、体を使う仕事を願っている。どちらも工賃収入とやりがい両立できるよう仕事の確保と創出に努めている。

② 業務の効率化に対する取組み

これまで指導員が行ってきた製品の梱包や箱詰めを、指導員の指導の下、利用者の作業に移行している。指導員の実務部分について、出来ることは利用者による作業として依頼し、指導員は、より効率的に、利用者の負担を減らすような作業環境を整備することに注力できる体制としている。

③ その他

地域とのつながりを広げようと取り組んできた結果、酒蔵、温泉宿泊施設、お寺、自治会役員、地権者等との連携が生まれた。施設の特性上、地元住民だからといって、必ずしも関わりがあるわけではなく、まずは施設を知ってもらうところから始まる。施設を知らない人も多く、また、知っている間違った理解をしている人も多くおり、施設の管理運営を行いながら、これからも地域の施設として認知され連携していけるよう努めていきたい。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

地域との関係は良好であるが、まだまだ認知度が不十分だと感じている。また施設内での作業も業種が限定されており、幅広く利用者を受け入れることが難しく、利用者が中々増えない一因となっている。年々利用者の高齢化が進む中で、今後の事業内容をどういう方向に進めることが適正なのか職員、利用者、地域の協力者も交え、考えていきたい。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

今年度は数値上、登録利用者減、平均工賃減と運営上重要な部分での悪化があった。数値上、成果を上げることができなかったものの、利用者個々の相談対応は充実させることができた。また、今年度も新規の取引先企業が増え、まだまだ十分とは言えないが、拡大することができた。あわせて、次年度に向け、農作業の連携拡大が進んでいることも含め総合的に自己評価をさせていただいた。

② 次年度以降の取組み

今年度、取引企業は増えたものの、取引高が大きく落ち込んでいる事から、取引先ありきの運営の不安定さを痛感している。次年度は施設での成果物の加工販売に着手したいと、計画を進めている。また、地域の理解者・協力者も増え、協働し取り組めることを模索している。具体的には、ソルガムの栽培と梱包、シイタケ栽培と加工販売、篠ノ井軽トラ市への出店を計画している。自前の事業を促進する事で利用者工賃の引き上げ、新たな利用者獲得のため、取組を進めていきたいと考えている。